

I 調査結果の概要

1 結果概要

(1) 表1で示すとおり、平成30年3月の卒業生総数は15,580人で、前年に比べると299人減少している。

就職者総数は6,852人で、前年より298人減少している。また、県内就職者総数は4,006人で、前年より115人減少している。

就職者総数に対する県内就職率は58.5%で、前年より0.9ポイント上昇している。また、2ページの図2に示すとおり、県内高校出身者の県内就職率をみると、大学で71.1%（前年に比べ1.0ポイント上昇）、短期大学・高等専門学校で87.9%（同0.8ポイント低下）、専修学校で74.6%（同2.3ポイント低下）になっている。

進学者総数は7,344人で、前年より22人減少している。県内進学率は42.5%で、前年より2.2ポイント低下している。

表1 学校種別進路状況 (単位:人、%)

区 分	総 数			大 学		短期大学・高等専門学校		専修学校(専門課程)		高 等 学 校	
	30年3月	29年3月	対前年増減	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	15,580	15,879	-299	3,010	3,184	1,040	1,068	1,447	1,525	10,083	10,102
① 就職者総数	6,852	7,150	-298	2,228	2,352	728	754	1,279	1,400	2,617	2,644
就職率	44.0	45.0	-1.0	74.0	73.9	70.0	70.6	88.4	91.8	26.0	26.2
① うち県内就職者	4,006	4,121	-115	718	674	501	543	852	948	1,935	1,956
県内就職率	58.5	57.6	0.9	32.2	28.7	68.8	72.0	66.6	67.7	73.9	74.0
② 進学者総数	7,344	7,366	-22	302	295	209	189	50	44	6,783	6,838
進学率	47.1	46.4	0.7	10.0	9.3	20.1	17.7	3.5	2.9	67.3	67.7
② うち県内進学者	3,120	3,293	-173	195	192	84	111	25	28	2,816	2,962
県内進学率	42.5	44.7	-2.2	64.6	65.1	40.2	58.7	50.0	63.6	41.5	43.3
③ 一時的な仕事に就いた者	175	116	59	50	30	27	33	20	17	78	36
一時的な仕事に就いた者の率	1.1	0.7	0.4	1.7	0.9	2.6	3.1	1.4	1.1	0.8	0.4
③ うち県内居住者	134	81	53	25	14	20	22	20	13	69	32
県内居住率	76.6	69.8	6.8	50.0	46.7	74.1	66.7	100.0	76.5	88.5	88.9
④ その他総数	1,230	1,283	-53	430	507	76	92	98	65	626	619
その他の率	7.9	8.1	-0.2	14.3	15.9	7.3	8.6	6.8	4.3	6.2	6.1
④ うち県内入学・居住者	583	611	-28	51	63	38	47	80	63	414	438
県内入学・居住率	47.4	47.6	-0.2	11.9	12.4	50.0	51.1	81.6	96.9	66.1	70.8

注) 高等学校卒業生のうち、

②の「進学者総数」は、大学等進学者及び専修学校(専門課程)進学者の計である。

④の「その他総数」は、専修学校(一般課程)等入学者、公共職業能力開発施設等入学者、不詳・死亡、その他の者の計である。

①の「就職者総数」(うち県内就職者)には、大学等に進学しかつ就職した者、専修学校(専門課程)に進学しかつ就職した者、専修学校(一般課程)等に入学しかつ就職した者及び公共職業能力開発施設等に入学しかつ就職した者(29年3月:35人 うち県内35人、30年3月:21人 うち県内20人)も含むため、①~④の計と卒業生総数は一致しない。

専修学校(専門課程)卒業生のうち、①の「就職者総数」には、大学等に進学しかつ就職した者(29年3月:1人)も含むため、①~④の計と卒業生総数は一致しない。

図1 学校種別県内就職率の推移

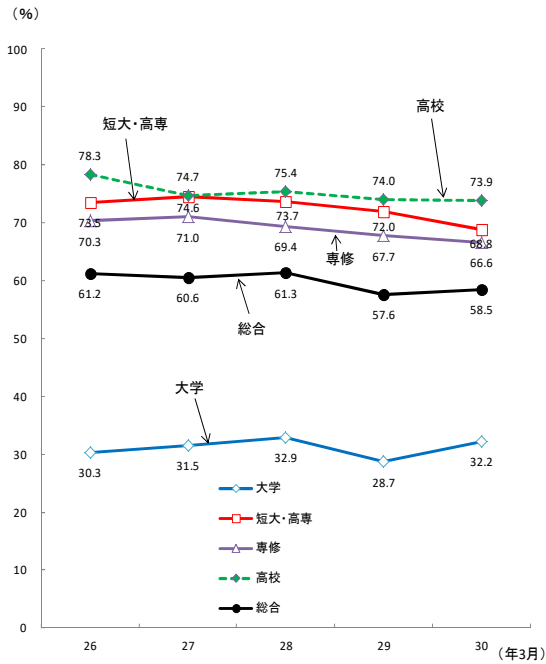


図2 県内高校出身者の県内就職率の推移

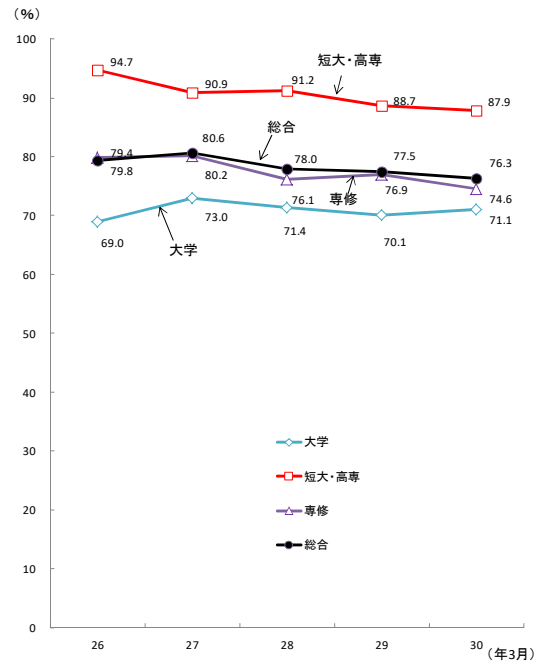


図1(表) 学校種別県内就職率の推移 (単位:%)

区分	26	27	28	29	30
総合	61.2	60.6	61.3	57.6	58.5
大学	30.3	31.5	32.9	28.7	32.2
短大・高専	73.5	74.6	73.7	72.0	68.8
専修	70.3	71.0	69.4	67.7	66.6
高校	78.3	74.7	75.4	74.0	73.9

図2(表) 県内高校出身者の県内就職率の推移 (単位:%)

区分	26	27	28	29	30
総合	79.4	80.6	78.0	77.5	76.3
大学	69.0	73.0	71.4	70.1	71.1
短大・高専	94.7	90.9	91.2	88.7	87.9
専修	79.8	80.2	76.1	76.9	74.6

表2 県内高校出身者の就職状況

(単位:人、%)

区 分	総 合		大 学		短期大学・高等専門学校		専修学校(専門課程)	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
就職者総数	2,324	2,447	751	742	503	550	1,070	1,155
うち県内就職者	1,774	1,896	534	520	442	488	798	888
県内就職率	76.3	77.5	71.1	70.1	87.9	88.7	74.6	76.9

(2) 県外就職者を就職先地方別で見ると、表3に示すとおり、大学卒業者では関東への就職者が最も多く、その他の学校種別では九州・沖縄に最も多く就職している。全体では、九州・沖縄1,085人(38.1%)、関東942人(33.1%)、近畿325人(11.4%)、中部164人(5.8%)、中国143人(5.0%)の順となっている。

前年と比較すると、図3に示すとおり、近畿(+0.7%)、関東(+0.5%)、北海道・東北(+0.4%)及びその他(国外・就職先不明、+0.3%)への就職者の割合が上昇し、九州・沖縄(-0.8%)、中部(-0.6%)、中国(-0.5%)及び四国(-0.1%)への就職者の割合が低下している。

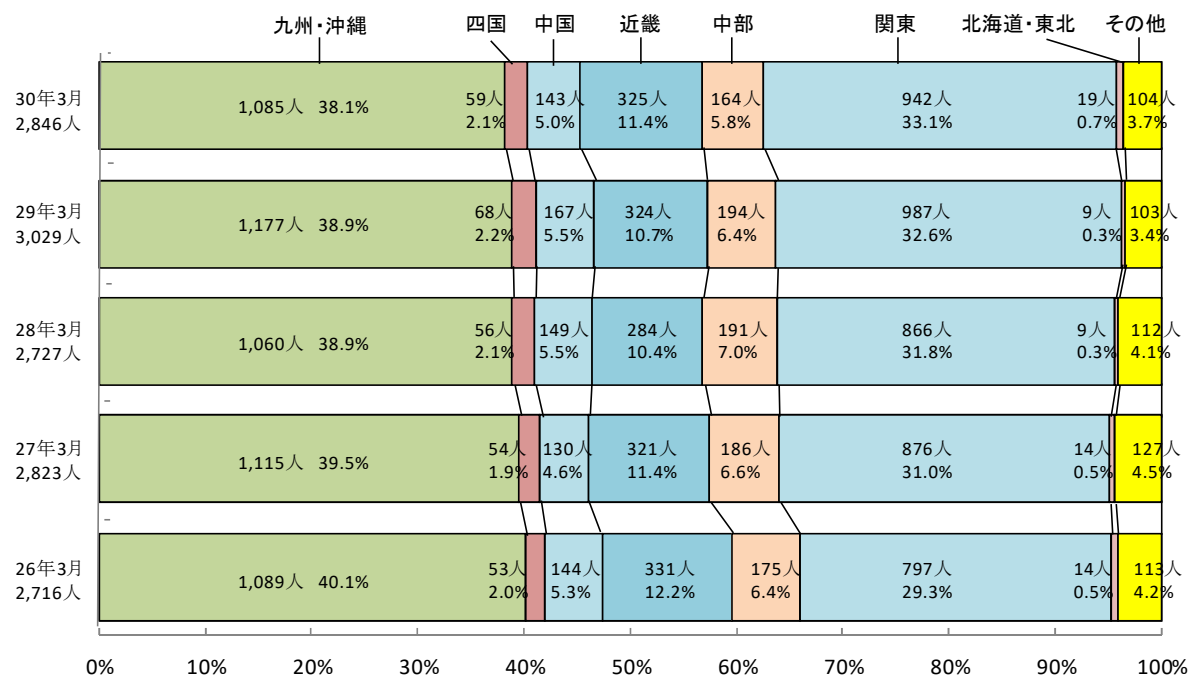
表3 県外就職者の就職先地方別状況 (単位:人、%)

区分	県外就職者数	県外就職者の内訳							
		九州・沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道・東北	その他
大学	1,510	458	35	64	163	68	605	18	99
構成比		30.3	2.3	4.2	10.8	4.5	40.1	1.2	6.6
短期大学・高等専門学校	227	111	8	9	24	3	71	-	1
構成比		48.9	3.5	4.0	10.6	1.3	31.3	-	0.4
専修学校(専門課程)	427	214	10	21	55	8	114	-	5
構成比		50.1	2.3	4.9	12.9	1.9	26.7	-	1.2
高等学校	682	302	6	49	83	85	152	1	4
構成比		44.3	0.9	7.2	12.2	12.5	22.3	0.1	0.6
合計	2,846	1,085	59	143	325	164	942	19	104
構成比		38.1	2.1	5.0	11.4	5.8	33.1	0.7	3.7

注)端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。

注)「高等学校の県外就職者の内訳」の出典は『学校基本調査』。

図3 県外就職者の就職先地方別状況(推移)



2 大学

(1) 表4に示すとおり、平成30年3月卒業者のうちの就職者総数は2,228人で、前年より124人減少している。そのうち県内に就職した者は718人で、前年より44人増加している。県内就職率は32.2%で、前年より3.5ポイント上昇している。

県内就職率を学部別でみると、文学部が61.9%で、最も高い県内就職率となっており、前年より5.5ポイント上昇している。他の学部についてみると、商経学部は20.4%（前年に比べ2.3ポイント上昇）、工学部は32.1%（同8.3ポイント上昇）、医学部は51.3%（同0.7ポイント低下）、看護学部は45.1%（同12.8ポイント低下）、家政学部は57.3%（同1.0ポイント低下）、教育学部は55.3%（同10.0ポイント上昇）となっている。

3ページ表3に示したとおり、県外就職者は1,510人で、前年より168人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、関東605人（県外就職者総数に対する構成比40.1%）、九州・沖縄458人（同30.3%）、近畿163人（同10.8%）、その他の地方99人（同6.6%）、中部68人（同4.5%）、中国64人（同4.2%）、四国35人（同2.3%）、北海道・東北18人（同1.2%）の順となっている。

進学者総数は302人で、前年より7人増加している。県内進学率は64.6%で、前年より0.5ポイント低下している。

表4 学部別進路状況(大学)

(単位:人、%)

区 分	総 数		文学部		商経学部		工学部		医学部	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	3,010	3,184	196	233	1,706	1,836	497	505	168	169
就職者総数	2,228	2,352	126	156	1,262	1,361	305	324	160	150
就職率	74.0	73.9	64.3	67.0	74.0	74.1	61.4	64.2	95.2	88.8
うち県内就職者	718	674	78	88	258	247	98	77	82	78
県内就職率	32.2	28.7	61.9	56.4	20.4	18.1	32.1	23.8	51.3	52.0
進学者総数	302	295	9	14	92	81	167	153	2	4
進学率	10.0	9.3	4.6	6.0	5.4	4.4	33.6	30.3	1.2	2.4
うち県内進学者	195	192	7	11	16	7	157	140	1	1
県内進学率	64.6	65.1	77.8	78.6	17.4	8.6	94.0	91.5	50.0	25.0
一時的な仕事に就いた者	50	30	37	14	10	7	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.7	0.9	18.9	6.0	0.6	0.4	-	-	-	-
うち県内居住者	25	14	21	9	2	1	-	-	-	-
県内居住率	50.0	46.7	56.8	64.3	20.0	14.3	-	-	-	-
その他総数	430	507	24	49	342	387	25	28	6	15
その他の率	14.3	15.9	12.2	21.0	20.0	21.1	5.0	5.5	3.6	8.9
うち県内居住者	51	63	10	15	19	22	10	8	1	6
県内居住率	11.9	12.4	41.7	30.6	5.6	5.7	40.0	28.6	16.7	40.0

つづき

区 分	看護学部		家政学部		教育学部	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	84	76	99	117	260	248
就職者総数	71	57	89	103	215	201
就職率	84.5	75.0	89.9	88.0	82.7	81.0
① うち県内就職者	32	33	51	60	119	91
県内就職率	45.1	57.9	57.3	58.3	55.3	45.3
進学者総数	13	16	2	2	17	25
② 進学率	15.5	21.1	2.0	1.7	6.5	10.1
うち県内進学者	9	10	-	1	5	22
県内進学率	69.2	62.5	-	50.0	29.4	88.0
③ 一時的な仕事に就いた者	-	3	2	2	1	4
一時的な仕事に就いた者の率	-	3.9	2.0	1.7	0.4	1.6
うち県内居住者	-	2	1	1	1	1
県内居住率	-	66.7	50.0	50.0	100.0	25.0
④ その他総数	-	-	6	10	27	18
その他の率	-	-	6.1	8.5	10.4	7.3
うち県内居住者	-	-	2	6	9	6
県内居住率	-	-	33.3	60.0	33.3	33.3

注) 医学部卒業者のうち臨床研修医については、「就職者総数」に含む。

(2) 図4に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が342人(15.4%、前年に比べ2.3ポイント上昇)で最も多く、次いで製造業323人(14.5%、同0.4ポイント上昇)、卸売業、小売業307人(13.8%、同0.2ポイント上昇)、情報通信業168人(7.5%、前年同)の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図5に示すとおり、医療、福祉が186人(25.9%、前年に比べ1.1ポイント上昇)で最も多く、次いで卸売業、小売業86人(12.0%、同1.8ポイント低下)、教育、学習支援業80人(11.1%、同0.9ポイント上昇)、製造業74人(10.3%、同0.7ポイント上昇)の順となっている。

図4 産業別就職状況の推移(大学)

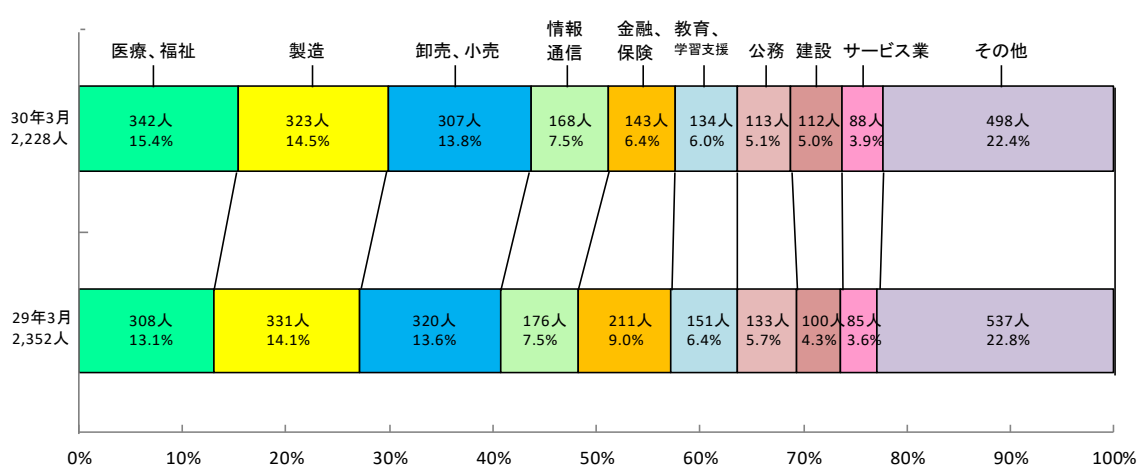
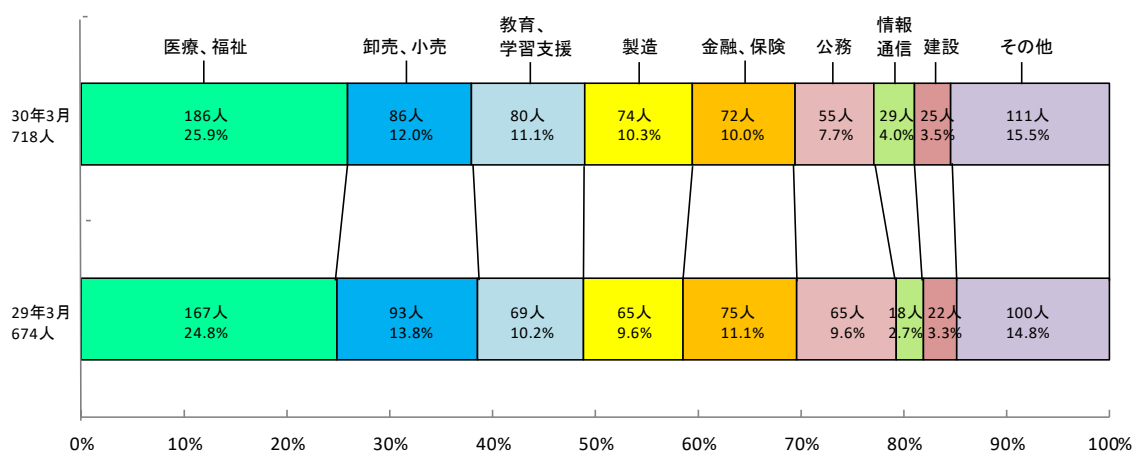


図5 産業別県内就職状況の推移(大学)



3 短期大学・高等専門学校

(1) 表5に示すとおり、平成30年3月卒業者のうちの就職者総数は728人で、前年より26人減少している。そのうち県内に就職した者は501人で、前年より42人減少している。県内就職率は68.8%で、前年より3.2ポイント低下している。

県内就職率を学科別でみると、社会学科、教育学科、家政学科、人文学科で70%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は227人で、前年より16人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄111人(48.9%)、関東71人(31.3%)、近畿24人(10.6%)、中国9人(4.0%)、四国8人(3.5%)、中部3人(1.3%)、その他1人(0.4%)の順となっている。

進学者総数は209人で、前年より20人増加している。県内進学率は40.2%で、前年より18.5ポイント低下している。

表5 学部別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	1,040	1,068	228	233	12	21	163	146	45	40
就職者総数	728	754	164	172	12	21	99	92	20	15
就職率	70.0	70.6	71.9	73.8	100.0	100.0	60.7	63.0	44.4	37.5
うち県内就職者	501	543	120	127	12	20	26	18	6	8
県内就職率	68.8	72.0	73.2	73.8	100.0	95.2	26.3	19.6	30.0	53.3
進学者総数	209	189	21	27	-	-	60	50	24	25
進学率	20.1	17.7	9.2	11.6	-	-	36.8	34.2	53.3	62.5
うち県内進学者	84	111	6	8	-	-	1	30	-	1
県内進学率	40.2	58.7	28.6	29.6	-	-	1.7	60.0	-	4
一時的な仕事に就いた者	27	33	10	7	-	-	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	2.6	3.1	4.4	3.0	-	-	-	-	-	-
うち県内居住者	20	22	9	7	-	-	-	-	-	-
県内居住率	74.1	66.7	90.0	100.0	-	-	-	-	-	-
その他総数	76	92	33	27	-	-	4	4	1	-
その他の率	7.3	8.6	14.5	11.6	-	-	2.5	2.7	2.2	-
うち県内居住者	38	47	23	15	-	-	4	4	-	-
県内居住率	50.0	51.1	69.7	55.6	-	-	100.0	100	-	-

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	174	161	284	337	134	130
① 就職者総数	132	128	250	284	51	42
就職率	75.9	79.5	88.0	84.3	38.1	32.3
うち県内就職者	103	94	213	254	21	22
県内就職率	78.0	73.4	85.2	89.4	41.2	52.4
② 進学者総数	22	7	25	26	57	54
進学率	12.6	4.3	8.8	7.7	42.5	41.5
うち県内進学者	9	2	24	24	44	46
県内進学率	40.9	28.6	96.0	92.3	77.2	85.2
③ 一時的な仕事に就いた者	2	3	3	14	12	9
一時的な仕事に就いた者の率	1.1	1.9	1.1	4.2	9.0	6.9
うち県内居住者	2	2	3	12	6	1
県内居住率	100.0	66.7	100.0	85.7	50.0	11.1
④ その他総数	18	23	6	13	14	25
その他の率	10.3	14.3	2.1	3.9	10.4	19.2
うち県内居住者	4	10	6	12	1	6
県内居住率	22.2	43.5	100.0	92.3	7.1	24.0

(2) 図6に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が246人(33.8%、前年に比べ1.5ポイント低下)で最も多く、次いで教育、学習支援業116人(15.9%、同0.1ポイント上昇)、卸売業、小売業104人(14.3%、同5.0ポイント上昇)、製造業77人(10.6%、同0.8ポイント上昇)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図7に示すとおり、医療、福祉が202人(40.3%、前年に比べ2.1ポイント低下)で最も多く、次いで教育、学習支援業102人(20.4%、同0.3ポイント上昇)、卸売業、小売業75人(15.0%、同6.7ポイント上昇)、製造業33人(6.6%、同2.4ポイント上昇)、金融業、保険業20人(4.0%、同1.5ポイント低下)、宿泊業、飲食サービス業15人(3.0%、同2.5ポイント低下)の順となっている。

図6 産業別就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

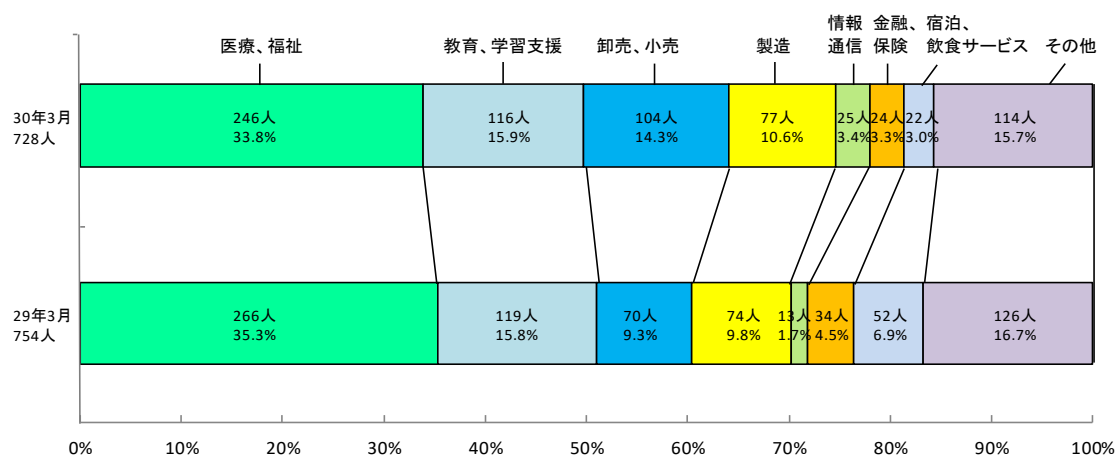
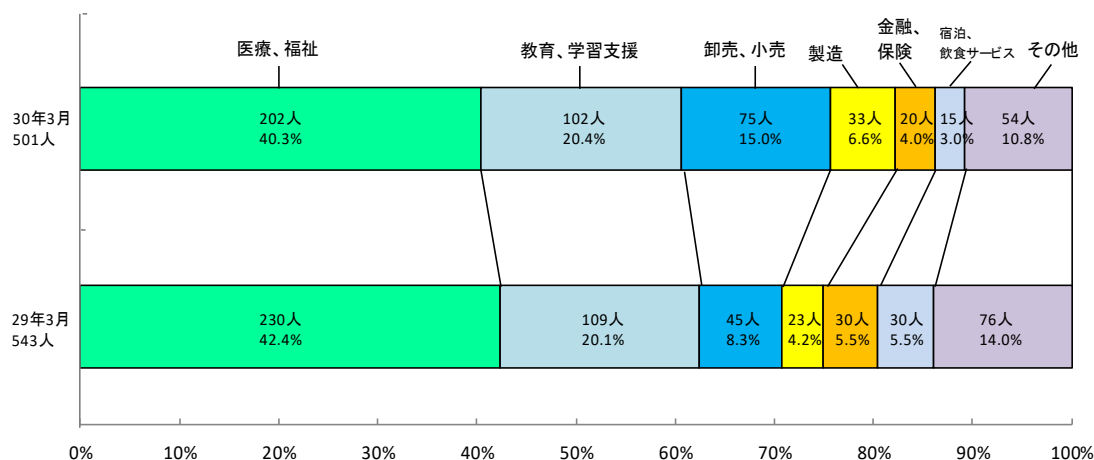


図7 産業別県内就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)



4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成30年3月卒業者のうちの就職者総数は1,279人で、前年より121人減少している。そのうち県内に就職した者は852人で、前年より96人減少している。県内就職率は66.6%で、前年より1.1ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、文化・教養科、服飾・家政科を除きいずれも60%以上の高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は427人で、前年より25人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄214人(50.1%)、関東114人(26.7%)、近畿55人(12.9%)、中国21人(4.9%)、四国10人(2.3%)、中部8人(1.9%)、その他5人(1.2%)の順となっている。

進学者総数は50人で、前年より6人増加している。県内進学率は50.0%で、前年より13.6ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況(専修学校〔専門課程〕) (単位:人、%)

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	1,447	1,525	217	213	45	49	738	813	143	111
就職者総数	1,279	1,400	207	207	45	48	651	753	125	101
就職率	88.4	91.8	95.4	97.2	100.0	98.0	88.2	92.6	87.4	91.0
うち県内就職者	852	948	131	121	39	37	419	517	93	84
県内就職率	66.6	67.7	63.3	58.5	86.7	77.1	64.4	68.7	74.4	83.2
進学者総数	50	44	-	-	-	1	20	16	1	1
進学率	3.5	2.9	-	-	-	2.0	2.7	2.0	0.7	0.9
うち県内進学者	25	28	-	-	-	7	12	1	-	-
県内進学率	50.0	63.6	-	-	-	35.0	75.0	100	-	-
一時的な仕事に就いた者	20	17	3	2	-	4	5	8	1	1
一時的な仕事に就いた者の率	1.4	1.1	1.4	0.9	-	0.5	0.6	5.6	0.9	0.9
うち県内居住者	20	13	3	2	-	4	4	8	1	1
県内居住率	100.0	76.5	100.0	100.0	-	-	100.0	80.0	100.0	100
その他総数	98	65	7	4	-	-	63	40	9	8
その他の率	6.8	4.3	3.2	1.9	-	-	8.5	4.9	6.3	7.2
うち県内居住者	80	63	7	4	-	-	51	38	9	8
県内居住率	81.6	96.9	100.0	100.0	-	-	81.0	95.0	100.0	100.0

つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	66	76	80	90	8	14	150	159
就職者総数	56	66	73	86	-	5	122	134
就職率	84.8	86.8	91.3	95.6	-	35.7	81.3	84.3
① うち県内就職者	53	54	57	69	-	3	60	63
県内就職率	94.6	81.8	78.1	80.2	-	60.0	49.2	47.0
進学者総数	8	7	5	2	-	-	16	17
② 進学率	12.1	9.2	6.3	2.2	-	-	10.7	10.7
うち県内進学者	7	5	3	1	-	-	7	10
県内進学率	87.5	71.4	60.0	50.0	-	-	43.8	58.8
③ 一時的な仕事に就いた者	1	-	-	2	-	-	4	7
一時的な仕事に就いた者の率	1.5	-	-	2.2	-	-	2.7	4.4
うち県内居住者	1	-	-	2	-	-	4	4
県内居住率	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	57.1
④ その他総数	1	3	2	-	8	9	8	1
その他の率	1.5	3.9	2.5	-	100.0	64.3	5.3	0.6
うち県内居住者	1	3	1	-	8	9	3	1
県内居住率	100.0	100	50.0	-	100.0	100.0	37.5	100

(2) 図8に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が785人(61.4%、前年に比べ4.0ポイント低下)で最も多く、次いで情報通信業105人(8.2%、同0.8ポイント上昇)、生活関連サービス業、娯楽業88人(6.9%、同0.5ポイント上昇)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図9に示すとおり、医療、福祉が542人(63.6%、前年に比べ6.5ポイント低下)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業66人(7.7%、同0.3ポイント低下)、卸売業、小売業39人(4.6%、前年同)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校[専門課程])

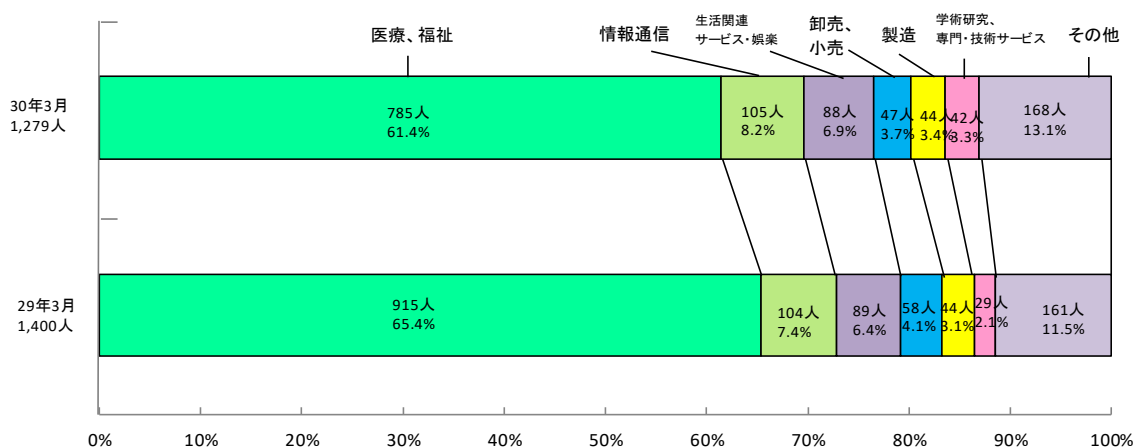
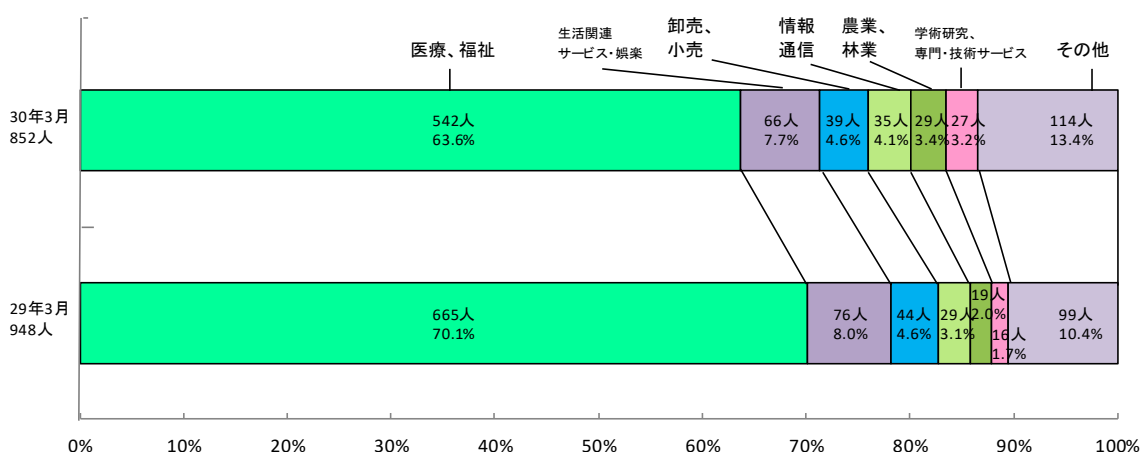


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校[専門課程])



5 高等学校

(1) 表7に示すとおり、平成30年3月卒業生総数は10,083人で、前年より19人減少している。そのうち大学等へ進学した者は4,826人で、前年より54人増加しており、大学等進学率は47.9%で、前年より0.7ポイント上昇している。そのうち県内の大学等へ進学した者は1,773人で、前年より59人減少している。

就職者についてみると、就職者総数は2,617人で、前年より27人減少している。そのうち県内に就職した者は1,935人で、前年より21人減少している。県内就職率は73.9%で、前年より0.1ポイント低下している。

不詳・死亡を除く卒業生全体のうち、4,869人(48.3%)が進学・就職等により県外へ転出し、5,214人(51.7%)が県内にとどまっている。

表7 学科別進路状況(高等学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		うち県内		県内比率		うち県外		学 科 別					
			30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	普通科		農業科		工業科	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	10,083	10,102	5,214	5,353	51.7	53.0	4,869	4,745	5,826	5,836	334	335	1,450	1,417
大学等進学者	4,826	4,772	1,773	1,832	36.7	38.4	3,053	2,940	3,704	3,658	35	28	184	146
大学等進学率	47.9	47.2	34.0	34.2			62.7	62.0	63.6	62.7	10.5	8.4	12.7	10.3
専修学校(専門課程)進学者	1,957	2,066	1,043	1,130	53.3	54.7	914	936	1,089	1,105	80	72	138	203
専修学校(一般課程)入学者	383	379	217	253	56.7	66.8	166	126	329	325	1	1	30	9
公共職業能力開発施設等入学者	76	64	64	52	84.2	81.3	12	12	56	42	5	5	11	12
就職者	2,596	2,609	1,915	1,921	73.8	73.6	681	688	499	562	203	225	1,073	1,029
一時的な仕事に就いた者	78	36	69	32	88.5	88.9	9	4	52	13	3	1	5	9
上記以外の者	167	172	133	133	79.6	77.3	34	39	97	128	7	3	9	9
不詳・死亡	-	4	-	3	-	-	-	-
進学者及び入学者のうち就職している者	21	35	20	35	95.2	100.0	1	-	8	9	3	2	1	1
就職者総数	2,617	2,644	1,935	1,956	73.9	74.0	682	688	507	571	206	227	1,074	1,030
就職率	26.0	26.2	37.1	36.5			14.0	14.5	8.7	9.8	61.7	67.8	74.1	72.7

つづき

区 分	学 科 別													
	商業科		水産科		家庭科		看護科		福祉学科		総合学科		他の学科	
	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月	30年3月	29年3月
卒業生総数	887	928	27	33	276	264	335	340	158	162	614	619	176	168
大学等進学者	182	202	1	7	75	72	251	271	32	30	258	243	104	115
大学等進学率	20.5	21.8	3.7	21.2	27.2	27.3	74.9	79.7	20.3	18.5	42.0	39.3	59.1	68.5
専修学校(専門課程)進学者	261	310	9	-	50	44	68	57	48	44	198	214	16	17
専修学校(一般課程)入学者	7	10	-	1	3	6	1	-	5	9	2	11	5	7
公共職業能力開発施設等入学者	1	4	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-
就職者	420	384	17	25	136	130	6	11	67	74	139	144	36	25
一時的な仕事に就いた者	3	4	-	-	4	5	6	1	3	3	1	-	1	-
上記以外の者	13	13	-	-	8	7	3	-	2	2	14	6	14	4
不詳・死亡	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進学者及び入学者のうち就職している者	2	15	-	-	-	-	3	-	4	6	-	2	-	-
就職者総数	422	399	17	25	136	130	9	11	71	80	139	146	36	25
就職率	47.6	43.0	63.0	75.8	49.3	49.2	2.7	3.2	44.9	49.4	22.6	23.6	20.5	14.9

(2) 図10に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち県内就職者1,935人を就職先市町村別でみると、大分市に就職した者が949人で全体の49.0%を占め、次いで中津市161人(8.3%)、別府市149人(7.7%)、日田市83人(4.3%)、佐伯市82人(4.2%)の順となっている。

また、就職先市町村を県内6地域に分けたときの地域別でみると、図11に示すとおり、中部1,093人(56.5%)、東部304人(15.7%)、北部295人(15.2%)、西部105人(5.4%)、南部82人(4.2%)、豊肥56人(2.9%)の順となっている。

図10 県内就職者の就職先市町村状況の推移(高等学校)

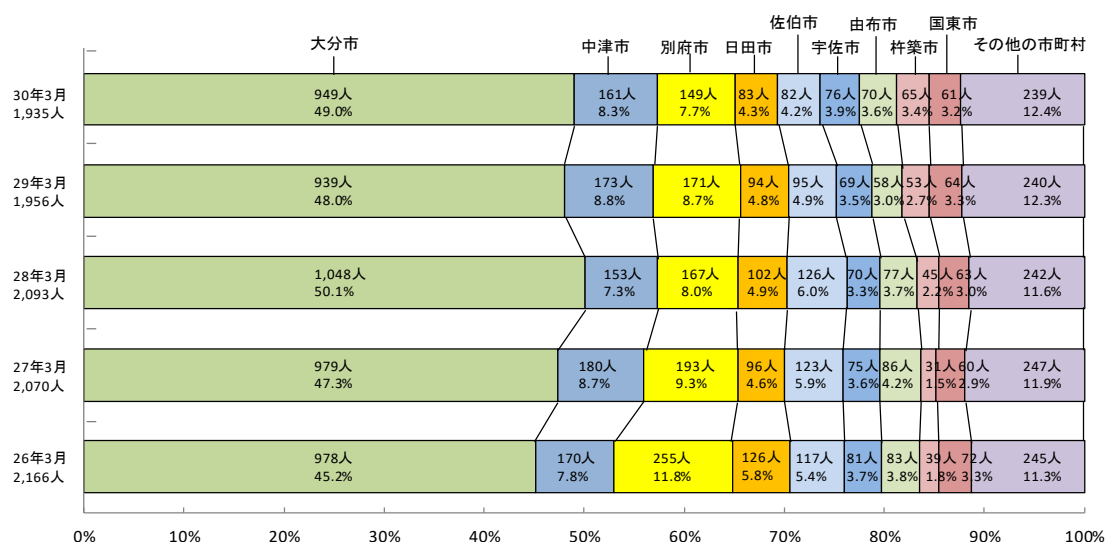
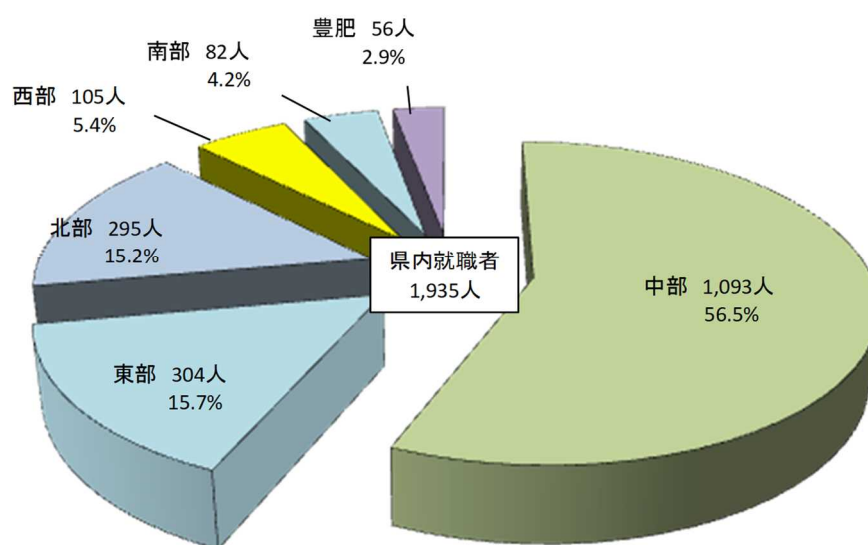


図11 県内就職者の就職先地域の内訳(高等学校)



(3) 図12に示すとおり、平成30年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況を見ると、製造業が1,019人(38.9%、前年に比べ1.5ポイント上昇)で最も多く、次いで建設業298人(11.4%、同1.0ポイント上昇)、卸売業、小売業225人(8.6%、同1.4ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図13に示すとおり、製造業が740人(38.2%、前年に比べ2.0ポイント上昇)、次いで建設業208人(10.7%、同1.1ポイント上昇)、卸売業、小売業189人(9.8%、同1.7ポイント低下)の順となっている。

図12 産業別就職状況の推移(高等学校)

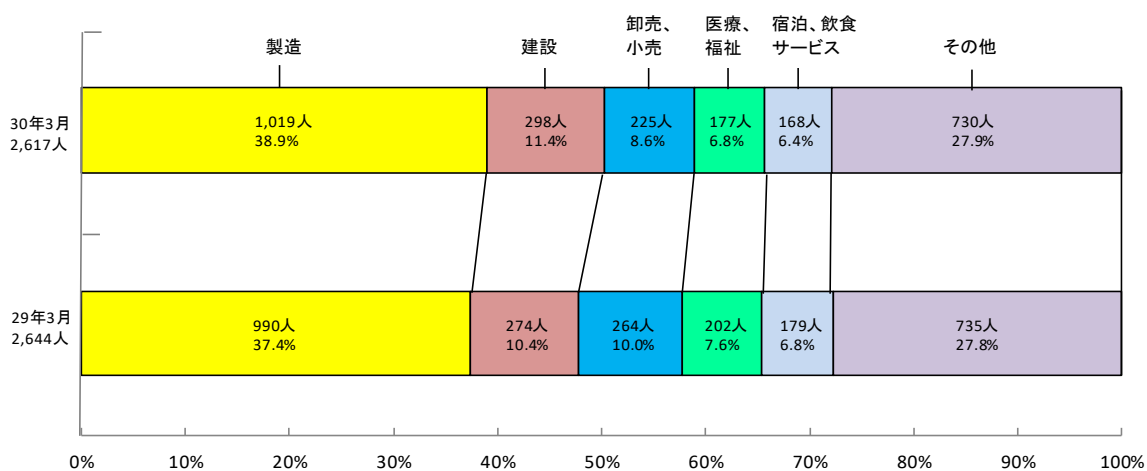
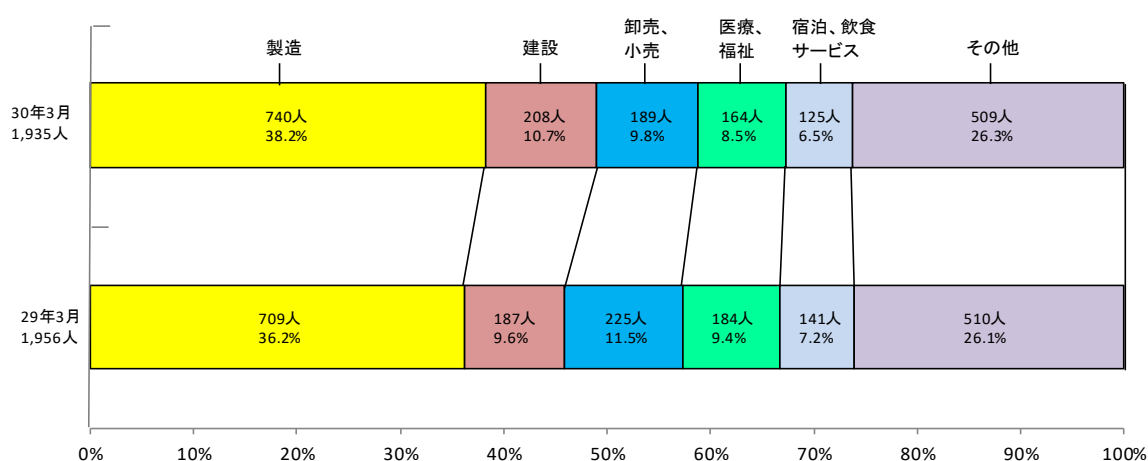


図13 産業別県内就職状況の推移(高等学校)



注) 図12、図13の出典は『学校基本調査』。